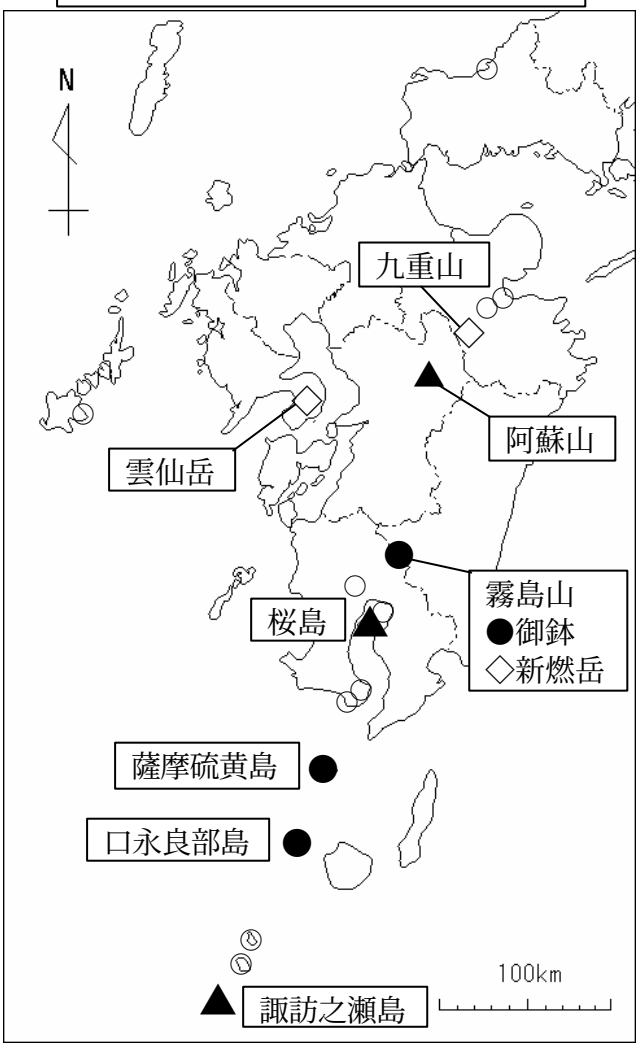
九州地方の火山活動解説資料
(平成 17 年(2005 年)の活動)

福 岡 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

九州地方および山口県の活火山



▲：噴火した火山
●：活動が活発あるいはやや活発であった火山
◇：解説を掲載した火山
○：その他の火山

この資料は、気象庁のデータの他、大分県、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、阿蘇火山博物館のデータを利用し作成しています。

この火山活動解説資料は、気象庁HP(http://www.jma.go.jp/)、福岡管区気象台HP(http://www.fukuoka-jma.go.jp/)に掲載しています。

次回の火山活動解説資料の公表は、2 月 7 日(火)の予定です。

月別活動状況　(九重山、霧島山、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島は２月から火山活動度レベルの提供を開始)

火山名		平成17年（2005年）											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
九重山	記号	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
	レベル		①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①
阿蘇山	記号	●	●	●	▲	●	●	●	●	●	●	●	●
	レベル	②	②	②	②→③	③→②	②	②	②	②	②	②	②
雲仙岳	記号	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
	レベル	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①
霧島山 新燃岳	記号	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
	レベル		①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①
霧島山 御鉢	記号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	レベル		②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②
桜島	記号	▲	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	レベル	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②
薩摩硫黄島	記号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	レベル		②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②
口永良部島	記号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	レベル		②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②
諏訪之瀬島	記号	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	レベル		③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③

概　況

◇　九重山[静穏な状況（火山活動度レベル 1)注1]
火山活動に大きな変化はなく、静かな状態で経過しました。

▲　阿蘇山[やや活発～活発～やや活発（火山活動度レベル 2⇒ 3⇒ 2)]
４月にごく小規模な噴火があり、火山活動は一時活発になりました。中岳第一火口の湯だまり量は増減を繰り返し、５～９月には火口底で赤熱現象を観測するなど、火山活動は年間をとおしやや活発でした。

◇　雲仙岳[静穏な状況（火山活動度レベル 1)]
火山活動に大きな変化はなく、静かな状態で経過しました。

●　霧島山（御鉢）[やや活発な状況（火山活動度レベル 2)注1]
火口縁を越える噴気を観測するなど、噴気活動はやや活発でした。噴気は次第に収まる傾向です。

◇　霧島山（新燃岳）[静穏な状況（火山活動度レベル 1)注1]
火山活動に大きな変化はなく、静かな状態で経過しました。

▲　桜島[比較的静穏な噴火活動（火山活動度レベル 2)]
噴火*は 17 回、うち爆発的噴火は 12 回ありましたが、桜島の火山活動としては比較的静穏な状態で経過しました。

●　薩摩硫黄島[やや活発な状況（火山活動度レベル 2)注1]
噴火はありませんでしたが、噴煙活動と地震・微動活動は一時期やや活発でした。

●　口永良部島[やや活発な状況（火山活動度レベル 2)注1]
火山性地震のやや多い状態が続き、２～４月には新岳北側で噴気が時々観測されるなど、火山活動はやや活発でした。

▲　諏訪之瀬島[活発な状況（火山活動度レベル 3)注1]
噴火を繰り返すなど火山活動は活発でした。年間の爆発的噴火回数は 46 回でした。

＊桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的噴火もしくは一定規模以上の噴火の回数を計数しています。

注 1)　九重山、霧島山(新燃岳、御鉢)、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島では、平成 17 年 2 月 1 日から火山活動度レベルの提供を開始しました。

平成 17 年の火山情報発表状況は各火山の解説資料に掲載しています。